

大盛況、よってけ市



5月3日から5日にかけて、ゴールデンウィーク中の旅行者に上ノ国町の特産品を味わってもらおうと、毎年恒例の「よってけ市」が道の駅もんじゅにて開催されました。開催初日の3日、開場前の駐車場では、よってけ市の開始を待つ乗用車やキャンピングカーが多数駐車し、その奥に今年から増設された駐車場もほぼ満車となりました。年々来場者が増え続けています。会場では、新鮮なアワビや海老、ホッケなどの魚介類、採れたてのク、メークインなどの野菜を皿から溢れんばかりに盛り合わせた特産品バーベキューが大人気で、販売開始前から長蛇の列ができていたほか、町内外の飲食店も多数出店しており、来場者は会場横に設けられたテーブルで工夫に富んだB級グルメを満喫していました。

汐吹地区漁村に、大量の鯉!?



4月から5月連休明けにかけて、汐吹地区の漁港や集会施設の周りに、大量のこいのぼりが飾り付けられました。これは、汐吹町内会のふれあいサロン活動の一環として使わなくなったこいのぼりを地域住民から集めたもので、ゴールデンウィークに向けて昔を懐かしみながら子ども達に楽しんでもらおうと行われました。この取組について、小間汐吹町内会長にお話を伺うと、集まったこいのぼりは大小様々で、地域の協力により、昨年以上となる40匹を飾り付けられました。中には傷んでいけるものもあつたので修繕し飾り付けました。これからも季節の風物詩を地域で大切にしていきたいと話し、今後も地域の絆を守っていくために、活動に力を入れていきたいと思います。

2品目が週間1位獲得! 上ノ国のふるさと納税



全国で多くの市町村が登録しているふるさと納税ポータルサイト『ふるぽ』において、週間野菜類ランキングで、本町の2つの特産品がそれぞれ1位を獲得しました。1つ目は、刀祢農園(字木ノ子)が生産している「春アスパラガス1kg」が4月上旬から中旬にかけて1位となり、2つ目は中須田の布施農園(字中須田)が生産している「メークイン20kg(規格外品)」が4月下旬に同じく1位を獲得しました。本町の特産品は、かつてウニやアスパラガスなどがそれぞれ旬の季節に1位を獲得しており、このほかの特産品についてもランキング上位に度々名を連ねており、今後も上ノ国の持つ魅力が多くの方々に伝わっていくことが期待されます。

歴史探訪で依頼殺到中 観光協会によるガイドツアー



5月9日と15日、外部からの依頼を受けて、道の駅もんじゅで活動する上ノ国町観光協会による観光ガイドツアーが実施されました。9日のツアーでは、日本の100名城に選ばれた勝山館跡を目当てにバスツアーの観光客19名が訪れ、観光協会の加藤ガイドの説明に聞き入りながら、史跡を散策しました。また、15日には本町に残る史跡を巡りたいという東京在住のご夫婦が勝山館跡、花沢館跡、洲崎館跡の各史跡を同協会のガイドにより案内され、時折質問などを交えながら、約5時間のツアーを楽しめました。本町は和人文化発祥の地と銘打っていますが、その名のとおり北海道では珍しい中世期の文化財が多く遺っています。観光協会では、今後もこうした観光資源を活かした取組を行い、上ノ国町の魅力を発信していきたいとのことでした。